

もくじ

- ・ ラプンツェル

ラプンツェル

げんさく： グリムどうわ

イラスト： コトコト

へんしゅう： イエローバードプロジェクト

3

あるひ、『シオン』という なまえの おうじが、
すうにんの けらいたちとともに、
もりで かりをしていました。

「ん？ なんだ これは・・・だれかが
うたをうたっている」

ふと シオンのみみに、
かすかな うたごえが きこえてきました。

「シオンさま、このもりには、
おそろしい まじよのすむ とうが あるという
うわさを きいたことがあります」

「きけんです。もう かえりましょう」

「・・・いや、わたしは ここに のこる。
このうたごえが どうも きになるのだ。
おまえたちは さきに しろに もどっている」

「おまちください、シオンさまー！」

シオンは けらいたちを おいて、
そのうたごえの めしを さがしに、
ひとりで もりのおくへ はいっていきました。



5

うたごえをたよりに もりのなかを
さまよっていると、やがて シオンは
おおきな ふるい とうをみつけました。

「けらいたちの いていたとおりだ。
ここが まじよのすむ とうなのか？」

どうやら うたごえは、とうのうえにある、
おおきな まどのなかから きこえているようです。

シオンは とうのまわりを さぐってみましたが、
ふしぎなことに、どこにも
いりぐちらしきものが ありませんでした。

「おかしいな。どうやって、
なかに はいれば よいのだ。
ああ、それにしても うつくしい うたごえだ。
このこえの めしは、いったい だれなんだ」

それから まいにち、シオンは とうのしたへと
あしをはこび、そのうつくしい うたごえに
ききいっていました。

